

平成 20 年 10 月 6 日

報道関係者各位

日本初、カプセル内視鏡検査に特化した読影支援サービスを開始

- 経験豊富な消化器内視鏡専門医が読影診断をサポート -

ギブン・イメージング株式会社(本社/東京都千代田区、社長/笈川 義徳)は、日本で初めて、苦痛もなく患者様の負担が少ない小腸用カプセル内視鏡 PillCam[®] SB カプセル内視鏡を 2007 年に導入いたしました。このたび、PillCam[®] SB カプセル内視鏡検査の画像解析に対する医療現場の強い要望にお応えし、2008 年 10 月 1 日、VueSpan(PillCam[®] カプセル内視鏡読影支援サービス)をスタートいたしました。

PillCam[®] カプセル内視鏡読影支援サービスの主な特長は次の 2 点です。

- 経験豊富な消化器内視鏡専門医が読影を行い、より正確な診断を支援します。主治医のセカンドオピニオンとして活用いただけます。
- 主治医が行う読影にかかる時間と手間の負担を軽減し、効率化された時間を患者様への質の高いサービスと医療の質向上へと向けていただくことができます。

読影支援サービスの主な流れは、PillCam[®] カプセル内視鏡検査で撮像された画像を保存したメディアを PillCam[®]カプセル内視鏡読影支援センターに送っていただきます。消化器内視鏡専門医が送られた画像を読影し、受付から約 10 日前後で読影レポートを主治医に返送します。主治医はこのレポートをセカンドオピニオンとして患者様の診断・治療に役立てていただけます。

ギブン・イメージング社は最先端技術を用いて、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、患者様への負担が少ない消化管検査を実現したカプセル内視鏡のスペシャリストです。ギブン・イメージング社は、今後とも新たな製品、先進的なサービスを開発、提供することで、日本の消化器疾患診断・治療に貢献してまいります。

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、消化管疾患を発見するための、革新的で患者様に優しい製品を開発、製造、販売することで、消化管の診断に新たな定義をもたらしています。ギブン・イメージング社のテクノロジープラットフォームは、カプセルの中に小さなカメラを装着し、患者様が嚥下する使い捨ての PillCam[®] カプセル内視鏡と、データレコーダ、RAPID[®] ソフトウェアからなります。ギブン・イメージング社では、数種類のカプセル内視鏡を販売しており、アメリカをはじめ 60 カ国以上で発売されており、これまで世界で 75 万以上の患者様が PillCam[®] カプセル内視鏡検査を受診しています。ギブン・イメージング社が販売するカプセル内視鏡には、小腸全体を検査することができる小腸用カプセル内視鏡「PillCam[®] SB」の他、食道用カプセル内視鏡「PillCam[®] ESO」、大腸用カプセル内視鏡「PillCam[®] COLON」、そして PillCam[®]カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか開通性をみるための「Agile™ Patency カプセル」があります。PillCam[®] COLON は、欧州では CE マークを取得し販売されていますが、アメリカではまだ販売にいたっておりません。ギブン・イメージング社の本社、

工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。

ギブン・イメージング社の大株主は、Elron Electronic Industries (NASDAQ & TASE: ELRN)です。さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。
<http://www.givenimaging.com>.

注)日本では、PillCam[®] SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。また日本とは適応が異なっています。

本件に関するお問合せ:

バーソン・マーステラ社(ギブン・イメージング株式会社広報代理店)

平田・福島 電話 03-3264-6713